

第16期建設技術展示館

応募要領

新型コロナウイルス感染防止対策等のため、スケジュール等が変更となった場合には、ホームページ等でお知らせします。

1. 建設技術展示館の概要

関東地方整備局では、新技術活用と普及促進、国民に対する建設事業の啓発を目的に建設技術展示館を平成11年から開設し、建設技術の情報発信と技術者育成に努めています。

建設技術展示館では、技術者や若手に向けた情報だけでなく、一般の方々にも理解していただける体験メニューも用意し、様々な事業・技術の魅力の紹介も行っています。

名 称：建設技術展示館

所 在 地：千葉県松戸市五香西 6-12-1 国土交通省関東技術事務所構内

開 館 日：火曜日～金曜日(祝日および年末年始は除く)10:00～16:00

入 館 料：無料

来館者数：R3年度:約 2,800 人/年

(新型コロナ感染症対策実施以前は約6,000 人/年)

2. 第16期展示基本方針

第16期は持続可能な社会の実現のため、国土交通事業・施策の効果・効率をより一層向上させ、国土交通技術が国内外において広く社会に貢献するものとして「防災・減災が主流となる社会の現実」、「持続可能なインフラメンテナンス」、「インフラ分野のDX(デジタルトランスフォーメーション)」及び「インフラ分野の脱炭素化・GX(グリーントランスフォーメーション)」に主眼においた展示を行います。

また、建設技術展示館に来場が困難な方等も展示技術を閲覧できる手法として、ホームページ内に「バーチャル展示館」を新たに開設し、より多くの方に展示技術を知って頂くとともに、建設技術展示館への来場を促進していきます。

3. 背景

3.1 防災・減災が主流となる社会の実現

激甚化・頻発化する、または切迫する風水害・土砂災害・地震・津波・噴火・豪雪等の自然災害に対する強靱化対策により、国民が安心して生活を送ることができる社会を目指した取組みを進めているところです。

3.2 持続可能なインフラメンテナンス

我が国のインフラは、その多くが高度経済成長期以降に整備されており、今後、建設から 50 年以上経過する施設の割合は加速度的に増加する見込みです。そのため、予防保全に基づくインフラメンテナンスへの本格転換による維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や、新技術等の導入促進によるインフラメンテナンスの高度化・効率化等を進め、インフラが持つ機能が将来にわたって適切に発揮できる、持続可能なインフラメンテナンスの実現を目指した取組みを進めているところです。

3.3 インフラ分野のDX(デジタルトランスフォーメーション)

世界的な情報通信技術(ICT)やAI、5G、クラウド等のデジタル技術の進歩を背景に、デジタル技術やデータの更なる活用により、あらゆる分野・セクターにおいて生産性向上・省人化や新たなサービスの創出が進み、社会課題の解決やイノベーションが進むことが期待されます。国土交通省においても令和2年7月に「国土交通省インフラ分野のDX推進本部」を設置し、デジタル技術を用いて、管理者側の働き方や国民の皆様へ提供するサービス・手続きなども含めて、インフラまわりをスマートにし、従来の「常識」を変革するインフラ分野のDXに取り組んでいるところです。

3.4 インフラ分野の脱炭素化・GX(グリーントランスフォーメーション)

我が国においても、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指し、積極的に温暖化対策を行うことが産業構造や経済社会の変革(GX:グリーントランスフォーメーション)をもたらす、大きな経済成長につながるという発想の転換により、経済と環境の好循環をつくり出していくことが求められています。また、地球温暖化緩和策が急務となる中、防災・減災対策等の気候変動適応策に加えて、省CO₂に資する材料等の活用促進など、インフラの計画・設計、建設施工、更新・解体等の各段階において脱炭素化に向けた取組みを推進する必要があります。

4. 募集内容

4.1 応募要件

(1) 応募者は、企業・団体とします。

なお、応募要件を満たしていれば建設業以外の業種からの応募も可能です。

(2) 応募できる展示技術に関しては、公共事業の調査設計・施工・維持管理及び防災に活用可能な技術であることを基本とし、以下の①に関連する技術で、且つ②の要件に同意が必要です。

① 展示技術は、以下の技術いずれか1つ、又は組合せとします。

展示技術の具体的な内容について、別添(様式1)に記載してください。

A 防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術

a. 防災・減災対策技術

- b.被災後の応急復旧技術
- c.補修・メンテナンスの技術
- d.点検・診断やモニタリングの技術
- e.その他の防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術

B インフラ分野のDX(デジタルトランスフォーメーション)技術

a.i-Construction 技術

- イ. IoT を活用した技術
- ロ. ドローンや衛星などの三次元測量データを活用した技術
- ハ. ICT 施工技術
- ニ. BIM/CIM など三次元設計技術
- ホ. AR/VR/MRなどを活用した技術

- b.無人化・省力化・ロボット技術
- c.ビッグデータ等を活用した AI による技術
- d.その他のインフラ分野のDX技術

C インフラ分野の脱炭素化・GX(グリーントランスフォーメーション)技術

- a.建設機械等の二酸化炭素排出量の削減技術
- b.再生可能エネルギーの効果的な活用技術
- c.都市緑化に関する技術
- d.その他のインフラ分野の脱炭素化・GX 技術

- ② 関東技術事務所が企画主催する出展技術発表会^{※1}での発表に同意できること。
できない場合は、選考の対象外となります。

^{※1}出展技術を出展者自らが発表形式により紹介するもの(年1回で、全2回を予定)

- (3) 以下の事項がある場合は、別添(様式 2)へ記載して下さい。

- a.建設産業の担い手確保や土木技術への興味を掘り起こす工夫^{※2}がある場合、具体的に記載して下さい。(様式 2①)

^{※2}:展示ブース内において、体験可能な仕組みの取り入れなど。

- b.応募する技術の活用実績がある場合、具体的に記載して下さい。(様式 2②)

- c.展示館ホームページ内に新たに開設する「バーチャル展示館」に掲載するコンテンツ^{※3}のうち「技術紹介(出展技術ガイドに記載)」以外に提供するコンテンツがある場合、具体的に記載して下さい。(様式 2③)

「バーチャル展示館」に掲載する「技術紹介(出展技術ガイドに記載)」以外の提供コンテンツの仕様条件は別添資料によるものとします。

※3:展示館で展示を予定している内容について、ホームページ上で提供できるコンテンツ(動画や静止画等ブラウザ上で動作するもの)。

d.DXパークへの提供できる体験型コンテンツ※4がある場合、具体的に記載して下さい。(様式 2④)なお、DX パークに配備される機器仕様等については、別添資料のとおりとします。但し、提供内容については、上記の機器仕様等に限るものではありません。

※4公共事業の調査設計・施工・維持管理及び防災に活用可能な技術であれば、応募技術と異なる技術でも良い。

e.屋外展示場での実物展示など、屋内展示ブースと連動した屋外での技術展示の提案がある場合、具体的に記載して下さい。(様式 2⑤)

屋外での技術展示の予定配置位置及び設置規模を参考として別添資料に示します。

4.2 展示場所

千葉県松戸市五香西6-12-1

国土交通省関東地方整備局関東技術事務所 建設技術展示館

4.3 展示期間

リニューアルオープン(令和5(2023)年5月下旬を予定)から約2年間を予定

4.4 募集数

屋内展示 80小間を予定(展示者の使用小間数により変動することがあります。)

4.5 展示スペース

展示スペースの詳細については、別添資料のとおりとします。

5. 管理運営費

1小間当たり10万円となります。(第16期展示期間2カ年:5万円/年)

管理運営費は、清掃費・電気代・ガス代(冷暖房)・展示館施設周辺除草費・来館者の保険・通信費(インターネットホームページ維持費含む)・広報費(リーフレット等)・雑費等となっております。(具体的には下表を御参照ください)。

表 費用の負担

区分	屋 内
1)国土交通省が準備するもの	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎小間(パーティション) ●スポットライト(100W, 3灯) ●コンセントまでの1次電気工事 ●コンセント100V(1ヶ所) (各小間毎)
2)展示者が出展時に負担するもの	<ul style="list-style-type: none"> ●展示者の展示物の装飾・搬出入・設置・点検・管理・清掃に係わる費用 ●展示者分小間内の2次電気工事費、梱包材・展示物品・残材等の処分費 ●会場設備・備品及び他者展示物を破損した場合の弁償費 ●名板:技術名板(1000*200)、団体名板(700*130)、連絡先名板(210*80)の作成。詳細は別途連絡します。
3)展示者が維持管理上負担するもの	<p>展示期間中の展示品及び展示環境を良好に保持するために要する経費、来館者の傷害保険や賠償責任保険及び清掃等管理運営にかかる費用(負担額は選定後の管理運営委員会の議決により決定します。)</p> <p>参考:負担額は、以下の金額を想定しますが変動することもあります。</p> <p>屋内 : 1小間あたり10万円/2年間</p> <p>※ 2小間使用する場合は、2倍になります。</p> <p>※ 負担金の支払い方法は、別途連絡します。</p> <p>※ 共同申請の応募の場合、代表出展者へ請求します。</p> <p>※ 途中入れ替えに伴う費用は負担して頂きます。</p>
4)展示者が撤去時に負担するもの	<p>展示者の展示物の撤去に係る費用、梱包材・残材等の処分費、会場設備・備品及び他者展示物を破損した場合の弁償費、小間の原型復旧に係る費用、撤去に係る清掃費</p> <p>※電力等の設備は、上記1)で示したコンセント、スポットライトのみとなります。それ以外の設備は設置できません。</p>
5)技術発表会で国土交通省が準備するもの	<ul style="list-style-type: none"> ●会議室及びイス、テーブル ●パソコン、プロジェクター ●既に構内に設置されているコンクリート供試体等施設 ●コンセント100V(1カ所)
6)技術発表会で展示者が負担するもの	<ul style="list-style-type: none"> ●発表者 ●技術発表会で国土交通省が準備するもの以外に必要な資機材

6. 応募の留意点

6.1 応募者

応募者は、企業・団体とします。なお応募者が施工者及び共同開発者等で他に技術の権利者が存在する場合は、当該技術の権利者の同意・了承を得た上で応募してください。

6.2 必要小間数

展示は、屋内展示場内「1小間1技術」を基本としますが、分野及び細分野が同じ場合は、1小間に複数技術の展示も可能とします。ただし、この場合は応募書類に関連性等の概要説明が必要となります。

また、展示スペースに2小間以上を必要とする場合には、必要小間数を応募して下さい。
(管理運営費に関しては、10万円(1小間)×必要小間数となります。)

6.3 第15期展示技術の継続

4.1の応募要件を満たすことを条件に、現在、建設技術展示館に展示されている技術での再応募も可能とします。ただし、展示位置は変更となります。

応募時に展示内容について具体的に御提案下さい。

6.4 応募不可の技術について

特許等の知的財産権に関して係争中の技術は、応募できません。また、展示中であっても係争が発生した場合は展示を中止していただく場合があります。

6.5 展示物の変更

募集内容に逸脱しない範囲で、展示期間中の展示物等の変更は可能とします。

なお、詳細の運用規則等につきましては、第16期建設技術展示館管理運営委員会設置時に定めることとします。

6.6 展示の中止について

展示者が展示物を管理できなくなる恐れがあると判断した場合は、展示を中止させていただきます。撤去は、展示者(又は、管財人)の責任、費用において実施していただきます。

6.7 NETIS登録の有無について

応募要件にNETIS(新技術情報提供システム)登録の有無は問いません。又、NETIS登録による、優位評価することはありません。

NETISに登録されている技術を応募する場合は、様式1に登録番号を記載することにより、申請技術がわかる資料の添付を簡略化することが可能です。

7. 応募期間

令和4年10月11日(火)から令和4年12月2日(金)17:00厳守※

※送信履歴が17:00までのものを受付いたします。

8. 応募方法

8.1 応募方法

電子メールにて応募してください。

8.2 応募書類

応募書類の様式に基づき応募して下さい。

なお、応募様式の電子データが必要な場合は、「8.3 問合せ・提出先」に記載されているE-mail宛てに電子メールにて請求願います。

8.3 問合せ・提出先

国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所内 建設技術展示館 事務局

〒270-2218 千葉県松戸市五香西 6-12-1

(電話)047-389-5123(牧島・渡辺)

(E-mail)kense-te@sweet.ocn.ne.jp

9. 応募内容の審査及び結果の通知

9.1 応募書類の修正

応募書類に記入漏れ等があり審査し難い場合は、期限付きで修正を求めることがあります。このような要請があった場合は、修正した応募書類を指定された期間内に「8.3 問合せ・提出先」の電子メールに送付して下さい。

9.2 選考

応募内容については、学識経験者等からなる「建設技術展示館審査委員会」において、総合的に審査し、展示技術を決定いたします。そのため、応募されても選定されない場合があります。

応募書類は審査対象となるため、本応募要領に記入している内容に留意し、できるだけわかりやすく記入して下さい。

9.3 結果の通知

選考結果は、令和4年12月下旬迄に書面で応募者に通知します。

なお、選考内容に関するお問い合わせについては、お答え致しません。

10. 覚書の締結

展示にあたり、国土交通省関東技術事務所長と展示品、展示期間、展示物の保持及び管理運営等について定めた「覚書」を締結するとともに、建設技術展示館の全展示者で組織する管理運営委員会に加入していただきます。なお、共同による応募の場合の締結者は代表出展者(会社等)となります。

11. 展示物の配置

展示物の配置は、展示内容を考慮したうえで決定し、令和5年1月上旬迄に展示者に連絡いた

します。なお、継続して展示する場合でも展示位置は変更となります。

12. スケジュール

- (1) 募集の受付開始 令和4年10月11日
- (2) 募集の締切り 令和4年12月2日 17:00厳守
- (3) 選考結果の通知 令和4年12月下旬(予定)
- (4) 展示者説明会(デザインの調整) 令和5年1月上旬(予定)
- (5) 展示物の搬入・設置期間 令和5年4月中旬～5月中旬
- (6) 展示物の展示期間 令和5年5月下旬から2年間(予定)

以上

別添資料

1. 展示スペース

(1) 展示：1小間を最小スペースとし、複数の技術応募も可能とします。

なお、上部から展示物等を吊す等、空間の利用も可能です。

1小間：幅2.0m×奥行き1.5m

パーティションは、幅2.0m×奥行き1.0mを用意します。*

展示品の内訳：(様式1)に記入して下さい。

なお、パネル等の作成の際、工業系高校生にもわかる概要版のパネル等を1枚以上作成し、展示することとします。

*展示館からは、パーティション、照明(スポットライト3灯)、電源(100Wコンセント)のみの提供となります。

机・展示パネル・映像装置等の備品は、展示者にて御用意下さい。

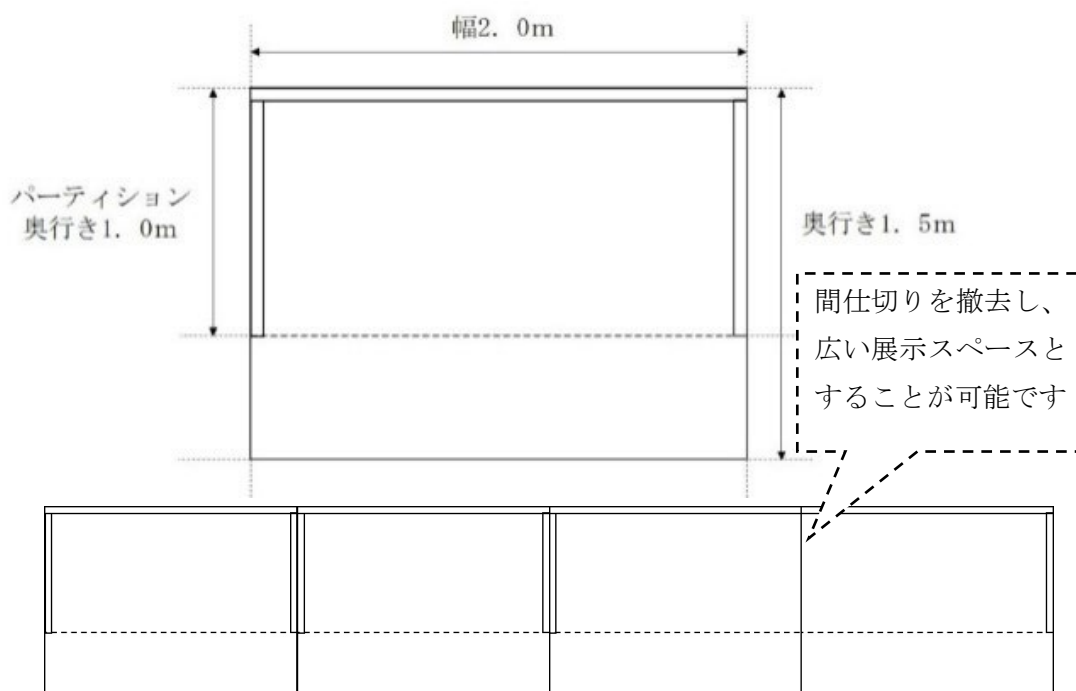


図 展示スペース(平面図)

2. 「バーチャル展示館」に掲載するコンテンツの仕様条件

「バーチャル展示館」に掲載する「技術紹介(出展技術ガイドに記載)」以外の提供コンテンツの仕様条件は次のとおりとします。

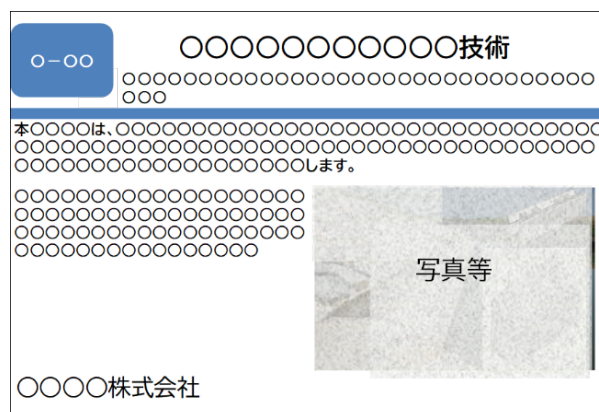
- ・データ容量：110MB以内(動画であれば20～60秒程度)
- ・動画形式：MP4形式

3. 「技術紹介(出展技術ガイドに記載)」

以下に例を掲載します。また、第15期出展技術ガイドについては、次のURLで参照可能です。

【建設技術展示館ホームページ 第15期出展技術ガイド検索】

<http://www.kense-te.jp/tech15/>



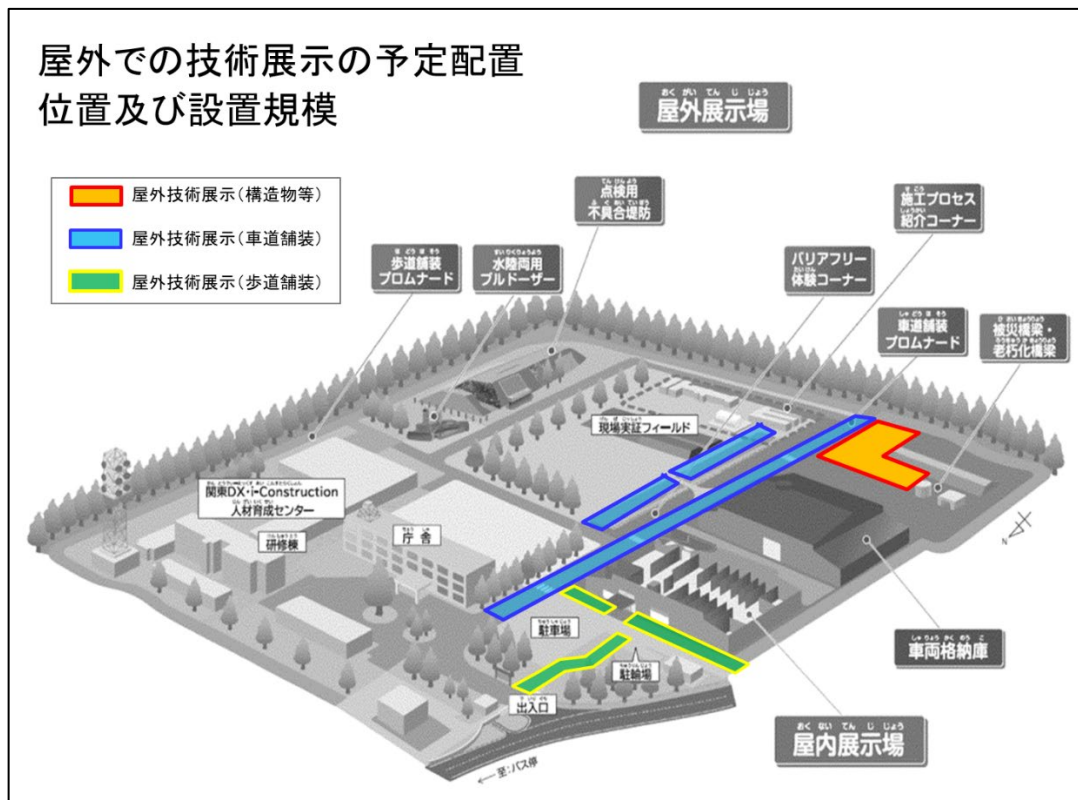
4. DX パークの配備機器仕様等

- ・ノート型パソコン 台数:1台
CPU:AMD Ryzen7 又は intel Core-i7 相当以上
メモリ容量:16GB
内蔵ストレージ:SSD 約1TB 以上
OS:Windows10 以上
付属ソフト:office Home&Business2021 以上
- ・操作体験用モニター 台数:2台
型式:マルチタッチ式(10点以上)
画面サイズ:60インチ以上
画質:フルHD以上
PC接続:外付けタッチパネルディスプレイ機能
- ・VRゴーグル 台数3台
oculus GO(32GB)
- ・タブレット端末 台数6台
Surface 128GB
OS:Windows 10 Home in S mode
CPU:Intel Pentium CPU 4425Y 1.70GHz
RAM:8GB

5. 屋外での技術展示

屋外展示場での実物展示など、屋内展示ブースと連動した屋外での技術展示について、予定している配置位置及び設置規模を参考として以下の通り示します。

なお、応募数や提案内容等により、実際の展示可能な配置位置及び設置規模は変更となる場合があります。



受付番号
※

※欄には記入しないで下さい

関東地方整備局 御中

第16期 建設技術展示館 出展技術(応募)

第16期 建設技術展示館リニューアルに伴う出展技術について、応募要領を了承し、下記のとおり建設技術展示館への展示を申請します。

また、関東技術事務所で企画主催する出展技術発表会での発表に同意します。

展示名	
副題	

社名(団体名)	
代表者名※	

※代表取締役等

住所	〒		都道府県名	<input type="text"/>
	フリガナ			
所属団体名がある場合には、記入して下さい(会員となっている協会等団体名)。				

窓口担当者	所属			
	役職名			
	氏名			
	E-Mail		TEL	

※欄には記入しないで下さい

展示内容(応募要領4.1応募要件参照)

具体的な展示内容を下記に記入して下さい。

また、申請技術が分かる資料(カタログや写真等)を添付して下さい。

具体的な展示概要		
①技術テーマ		
		←申請を希望する展示内容(該当技術:A.-d.~C.-d.)を選択して下さい。
		←上記でB.-a.「i-Construction技術」を選択した場合はイ.~ホ.の技術を選択して下さい。
		←展示館のHPに掲載するコンテンツのうち「技術紹介(出展技術ガイドに記載)」以外に提供可能な場合 ✓を入れてください。
②具体的な技術の内容		
NETIS登録技術の場合は登録番号:		
③その他アピール等		

※複数の技術提案となる場合には、ページをコピーして使用して下さい。

※具体的な展示概要について書き切れない場合も、ページをコピーして使用して下さい。

必要小間数(ブースサイズ)について記入してください。

必要小間数		小間
-------	--	----

展示品の内訳について、記入して下さい

内訳	数量	展示品詳細(具体的な内容)	備考
パネル	枚		
模型	個		
実物・サンプル	個		
体験・体感	個		
BD,DVDプレーヤー	台		
音声ガイダンス	式		
パソコン	台		
テーブル(机)	台		
イス	脚		
その他			

※1 展示物は指定されたスペース内(1小間:幅2.0m×奥行き1.5m×高さ2.5m)に収まるようにしてください。特に模型・実物等についてはスペースをはみ出さないように注意してください。上部から吊して展示する等、空間の利用も可能です。

※2 パネル等のサイズはA0、B1、A1の3種となります。サイズの違うものを複数展示する場合は、備考欄に数量を記入して下さい。(パネル以外(タペストリータイプ等)の類似製品を展示したい場合は、備考欄に記入して下さい。)

※3 パネル等作成の際には、工業系高校生にも展示やアピールしたい内容が一目でわかる要約版のパネル等1枚以上の作成・展示をお願いします。(イラストや写真を中心とした分かり易いもの)

受付番号
※

※欄には記入しないで下さい

①建設産業の担い手確保や土木技術への興味を掘り起こす工夫

※建設産業の担い手確保や土木技術への興味を掘り起こす工夫がある場合、具体的に記載してください。

建設産業の担い手確保や土木技術への興味を掘り起こす工夫

②応募技術の活用実績

※応募する技術の活用実績がある場合、具体的に記載してください。

応募技術の活用実績	
発注者名	
工事名	
履行期間	
その他（応募技術の活用されている状況など）	

③「バーチャル展示館」に掲載する「技術紹介（出展技術ガイドに記載）」以外の提供コンテンツ

※「技術紹介（出展技術ガイドに記載）」以外に提供コンテンツがある場合、具体的に記載してください。

掲載内容（具体的な説明、ファイル容量など）	
種類	静止画・動画・その他（該当に○）
内容	

※1技術あたり110MB以内とする。

④DXパークへの提供コンテンツ

※DXパークへの提供できる体験型コンテンツがある場合、具体的に記載してください。

具体的なDXパークへのコンテンツ提供の内容

⑤屋内展示ブースと連動した屋外での技術展示

※屋内展示ブースと連動した屋外での技術展示の提案がある場合、具体的に記載してください。

具体的な屋内展示と連動した屋外での技術展示の内容

--

(記載例)

受付番号
※

※欄には記入しないで下さい

関東地方整備局 御中

第16期 建設技術展示館 出展技術(応募)

第16期 建設技術展示館リニューアルに伴う出展技術について、応募要領を了承し、下記のとおり建設技術展示館への展示を申請します。

また、関東技術事務所で企画主催する出展技術発表会での発表に同意します。

展示名	○○○○○○(技術名)
副題	○○○を活用した○○○○の○○化技術

社名(団体名)	フリガナ
	○○○○○○会社
代表者名※	フリガナ
	○○○○○

※代表取締役等

住所	〒	○○○-○○○○	道府県名	千葉県 ▼
	フリガナ	○○市○○町○○○○○		
所属団体名がある場合には、記入して下さい(会員となっている協会等団体名)。				
○○○○ ○○○○○○会				

窓口担当者	所属	○○○部○○課○○係		
	役職名	○○○○		
	氏名	フリガナ		
		○○○○○		
	E-Mail	○○○○○	TEL	○○○-○○○-○○○

